

指 定 管 理 業 務 評 価 結 果 書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	倉敷運動公園、中山公園、玉島の森、水島中央公園、水島緑地 福田公園、真備総合公園、酒津公園軟式野球場・徒渉池、倉敷市倉敷体育館、倉敷市水島体育館、倉敷市粒江球技場、倉敷市粒浦球技場、倉敷市屋内水泳センター、倉敷市立倉敷武道館、倉敷市立児島武道館、倉敷市立水島武道館
(2) 指定管理者	所在地 倉敷市四十瀬 4 番地 名 称 倉敷市スポーツ振興事業団コンソーシアム 代表者 公益財団法人倉敷市スポーツ振興協会 会長 藤木 達夫
(3) 公の施設の所管部署	建設局土木部公園緑地課
(4) 評価対象期間	令和 3 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日まで

2 総合評価結果

	今年度は、業務の再委託を重視して評価を行った。 専門性の高い業務や経費削減の見込める単純業務を中心に実施されており、実施後に各公園管理事務所長が確認し、不備があれば手直しを指示する等十分に確認できる体制が構築されていた。また、業務の成果や契約金額等を総合的に判断し、契約業者の見直しを行った事例もあった。今後も効果的に業務の再委託を活用し、安心・安全な施設運営に努めてほしい。	総合評価
		S
(1) 市の評価	スポーツ施設等の管理運営では、特に新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図りました。具体的には、従前からの施設入場時のマスク着用や消毒の推奨、並びにセルフチェックシートへの記入をお願いしたほか、人の出入の多い場所への検温器や自動消毒液散布機や感知式照明の設置を行いました。さらに、スポーツ教室等事業では、定員の見直しや会場の変更等により、可能な限り開催し、市民のスポーツ参加機会が損なわれないよう努めました。 また、令和 3 年度の倉敷市によるモニタリング重点検査項目である業務の再委託については、直営を基本とし、外部への委託を最小限とする運営を行いました。ただし、合理性や効率性の	
(2) 指定管理者の自己評価		

	判断により業務を委託する場合には、施設管理責任者が現場で検収し、報告書を作成のうえ、複数人でチェックする体制としました。同様に備品管理においては、日常的な管理や点検に加え、四半期点検を行うなどし、適正な維持管理に努めました。
(3) アンケート結果の概要	アンケート結果によると、全体満足度が昨年度の 97.6%から 99%へ、職員応対に対する満足度は昨年度の 98.5%から 98.8%へ上昇し、職員の対応が良くなつたという意見が多く見られた。

3 施設の利用状況

	公園・施設名	令和 2 年度	令和 3 年度	前年度対比
(1) 利用者数	倉敷運動公園 (倉敷体育館・倉敷武道館・酒津公園軟式野球場・徒渉池を含む)	267,968 人	258,017 人	96%
	水島緑地福田公園 (粒江・粒浦球技場を含む)	133,010 人	119,691 人	90%
	水島中央公園 (水島体育館・水島武道館を含む)	96,540 人	79,508 人	82%
	中山公園 (児島武道館を含む)	129,742 人	101,139 人	78%
	玉島の森	77,092 人	72,460 人	94%
	真備総合公園	31,112 人	27,318 人	88%
	倉敷市屋内水泳センター	113,333 人	82,242 人	73%
(2) 事業の内容	合 計	848,797 人	740,375 人	87%
	園地の維持管理・清掃業務、噴水設備等の維持管理業務、環境衛生管理業務、自主事業に係る業務、備品の管理等に関する業務、個人情報保護等に関する業務、事業計画・業務報告に関する業務、自己評価の実施業務			

4 収支

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額 57,191 千円
	市からの指定管理料（委託料） 44,421 千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	その他の収入 12,770 千円
	総額 47,303 千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	主な支出 人件費 1,629 千円
	修繕料 4,494 千円
	光熱水費 3,097 千円
	材料費・消耗品費 979 千円
	使用料・賃借料 0 円
	手数料・委託料 35,203 千円
	保険料 586 千円
	減価償却費 55 千円
	租税公課 488 千円
	その他経費 772 千円